

あおい通信 第92号

迎春

株式会社ケアシステム
ネットワーク
代表取締役 片山章

本年は、「癸巳」（みずのとみ）です。陰陽五行説では、癸は陰の水に割り当てられ、水の弟「みずのと」、そして巳は陰の火とされます。「巳」の字は、庶民に十二支を浸透させるために解り易く動物の蛇を当てたと云われますが、もともと

「止む」という意味で、草木の成長が極限に達した状態を表しています。時刻でいえば午前十時から十二時、季節でいえば夏の盛りとなります。そして、この「癸巳」は、千支の六〇年サイクルの三〇番目、即ち前半の締め括りの位置にあります。では、スタート地点である30年前は何が起きた年だったでしょう？一九八四年、そうです！かの中曽根政権下において、悪名高きバブル経済が始まった年なので

す。その後のバブルの崩壊、失われた十年と続いた我が国の「狂気と苦悩」の三十年間。思い返すのも気が重くなるこの三〇年が「今年で終わる」、そんな癸巳なのです。民主党政権が自民党政権に戻り、彼らはどのような締め括りを見せてくれるのでしょうか？太陽は消滅直前に最も大きくなるといわれますが、我が国がそうならない事を祈りつつ、私達は日々の生活を締め括り続けたいと思います。

新東京街歩き

その1 六義園



写真・文 七海邦夫

はじめに

出会いと発見が旅や散歩の醍醐味とするならば、ちよつと想像力を働かせれば、東京の街歩きは実に魅力的だ。何しろ、かつての江戸には三百藩と言われる諸侯の広大な屋敷があった。それも夫々に上屋敷、中屋敷、下屋敷、抱え屋敷など複数の屋敷があったから、東京を歩けばごく普通の住宅街や近代的なビル街で屋敷跡と出会う。

六義園

（郡山藩注①下屋敷）

閑静な住宅街の一角、古い煉瓦の塀が続く広大な敷地の中には、豊かな緑樹が茂っている。ここが六義園で、現在残っている数少ない大名屋敷跡の一つである。江戸時代、ここには大和（現在の奈良県）郡山藩の下屋敷があった場所、というより柳澤吉保の屋敷と言った

方が分かり易いか。吉保は昔から、時代劇の悪役としてよく登場してくる人物である。五代将軍綱吉（注②）が館林藩主の時代から小姓として仕え、数百石の身分の家柄だったが、綱吉が將軍となつてからも重用され、異例の出世を遂げる。將軍側用人（注③）として権勢をふるい一万二千石の大名に出世すると、その後も年々加増、元禄七年（一六九四年）には川越藩主七万二千石を得て、老中と同格の地位を与えられている。実際に老中でさえ吉保の意見には逆らえなかったという。



→ 稀代の悪役？ 柳沢吉保

この地を拝領して、屋敷と庭園の建設がはじまった。「六義園」の名の由来は、紀貫之の「古今和歌集」の序文からというもので、吉保はこの庭園に和歌の会を実現しようとした。映画やテレビドラマでは権謀術数を駆使して私欲をむさぼる悪役として描かれることが多い吉保だが、実際は風流を愛でるなかなかの趣味人だったようである。屋敷と庭園は七年の歳月をかけて完成。その当時は江戸に数ある大名庭園の中でも、水戸徳川家の

小石川後楽園と並ぶ素晴らしいと評判も高かった。吉保の念願だった屋敷と庭園が完成したのは元禄十五年（一七〇二年）のことだった。

【注①】大和郡山藩

豊臣家が健在だった頃は天領だった。秀頼が大坂から大和郡山への移封を拒んだことから大阪の役勃発の直接の原因でもある。豊臣家滅亡後に水野勝成が六万石で転封され、その後も松平氏十二万石、本多氏十五万石など、譜代や親藩の封地となる。享保九年（一七二四年）柳沢吉保が十五万一千石で移封されてからは、明治の廃藩置県まで柳沢六代の支配が続いた。

【注②】綱吉

三代将軍家光の四男として生れる。母は京都の八百屋の娘だったと言われる柱昌院。館林藩二十五万石の藩主となったが、四代将軍の死により五代将軍に就任。強いリーダーシップを発揮して徳を推進しようとするが、殺生を嫌うあまりに、天下の悪法と評判の悪かった「生類憐れみ令」を制定するなど、やり過ぎな面も多々あった。

一五大将軍 徳川綱吉



【注③】側用人

幕府の正式な役職名である。將軍の側近として、將軍の命令を老中ら幕閣に伝えるのがその役目。五千石クラスの旗本がその役目に当てられたという。しかし、綱吉は柳沢吉保や牧野成定といった側用人を譜代大名にとりたて、その権力は強まった。將軍の身を護るために、老中や重臣らの部屋が將軍の居所から遠ざけられ、將軍の意思が側用人を通じてしかわからなくなるといった状況が生まれ、権勢を更に強めることになった。

葵友の会
広報コーナー

明けて
おめでたいですよ

1月度行事の予定

新年会

18日（金）横浜中華街「満珍楼」にて新年会を行います。

広東料理のランチコースを味わいながら、今年一年の夢を語り合います。

事務局長

雑学

絹田 治夫

式、江戸のしきたり。前回の続き。銅貨は「銭」といったので「銭八百」など、「文」を省略することが多い。

例えるなら、江戸時代の日本は、ドルとユーロと同じ国で流通しているのと同じです。よほど頭が：回らなければ生活できないような気がする。しかしそこはよくしたもので、庶民に金や銀はほぼ無縁だったよう、で、「文」だけ覚えておけば生

あおい俳壇・歌壇

紫にかすむ山々を従えて

くつきりと立つあかとききの富士

滝つ瀬の音のみ聞こえ朝もやに

寝なす山脈(やまなす)包まれにけり

泉 貞子

みじか日の家路を急ぐ人波に

亡き母に似し姿を見るも

吐く息の白さの中に見る顔の

新聞少年笑顔冷えたり

凍てつきし山あい深き湖の

口の照るところ水動きぬ

麻生 伊登子

妙延寺銀杏の海に脚沈み

秋空のレトロ口の駅舎に人湧けり

黄落に明けて民主の涙雨

片足で座禅をくむや冬の鴨(とき)

富 寿郎

相田 美代子

かさかさ枯野を歩む音寂し

湯けむりに笑顔ほころぶ親娘旅

練馬区結婚相談室

野沢 みか

懐かしい私の昔の職場です。平成二年(一九九〇年)から六年間、結婚相談員として在籍。場所は谷原交差点に程近いグリーンプラザ(当時の二階)スタッフは専任の区の職員一名と相談員二名の小世帯です。システムは会員制で、登録・閲覧・ご紹介がメインです。当時は各区に相談室がありましたが、成立数は常に上位でした。

練馬相談室では年に一回、大イベントがありました。適齢期の方々のためのお見合い一泊ツアーです。毎年、九月の最終土、日に、区の保養所ベルデ軽井沢に宿泊しました。男女共に三十才までの未婚の方々が対象で、区報にお知らせが載ると毎年、大変な人気でした。募集は男女各二十名。それとなく触れ合う又とな機会です。

さて、いよいよツアーの当日です。集合場所は区役所前、観光バスが横付けになっています。午

前八時間までに東京脱出ということで、毎年早朝の出発でした。区からグリーンプラザ館長が同行され、スタッフは四人です。

車内では、女性が窓際男性が通路側に着席して発車。先ずお隣同士でお話を始めて頂き、合図で男性が一人ずつ席をすれ軽井沢に着くまでに一巡出来るように計らいます。ベルデに到着し、昼食後は各部屋に到着し、夕食までは自由時間です。

そして夕刻からはホールでの交流会、ベルデの心尽くしのお料理の立食パーティです。館長挨拶に続き、参加者の方々の短い自己紹介があり食事が始まります。

皆様方、テーブルからテーブルへと入り交じり、会話も弾んで、とても楽しいそんな雰囲気です。頃合いをみて、ゲーム大会、カラオケへと輪を広げ、高原の夜を満喫します。触れ合いの中で自然にしみ出るお人柄やフィリソグなど感じ取れていたのではないのでしょうか。

翌日は、午前中にベルデ軽井沢を出発し、近くの名所を観光。バスは旧軽銀座へと向います。そして昼食は自由行動で。集合時間までゆっくり軽井沢の銀ブラです。その頃になると、何となくグループやカップルの輪が見えてきて、印象に残り帰りのバスの席は無作

為で、行きとは違い賑やかに和やかな中、区役所に到着。来週以降、相談室が忙しくなるよう期待して、一泊ツアーも無事解散。

秋田の方言

朝の風景

今 カツ子

「おどままけ」… 父さん(ご飯食へて)「わたしたちも」… 子供たちも「チャチャとけ」… 早く食へなさい「ぼたごあびつたからおじるこもつてけ」… 塩鮭を焼いたから、味噌汁を持っていって「あば、なまぐにゴミへった」… 母さん目にゴミ入った

秋田の冬は寒いので、言葉を出来るだけ短縮して話すので、こんなことになります。「かきく」「け」「こ」「柿食うか?」「食う」「行こう」。また、何でも「こ」を付けるので、都会の人が子牛を指して「あれはベッコのゴだろう?」と言ったら、秋田の子が「んでねえ、あれはベッコのゴッゴッだア」と。次の会話わかりますか?

「水あぶりに行くへ」… 水泳ぎ「ザッコいべい」と… 雑魚「いべとった」… いっぱい取った「あくこわい、こわい。ばばのがご作り手伝ってきたちや」… 疲れたおばあさん・漬物「まんず、へつてお茶ご飲んでけ。今朝のおしるこ緩めるけ、け」… 入って、味噌汁

「にど薯汁はうめえな」… じゃがいも汁その他思い出すままに、方言を幾つか…。「あんこ」… 兄 「おんじ」… 弟「おばこ」… 娘 「じい」… 祖父「おづけ」… 味噌汁「煮つげ」… 煮物 「かど」… にしん「ぶり」… 数の子 「べたこい」… 小さい「めぐせ」… 可笑しい「いけ」… あへ」… 行こう「こでられね」… やめられな「なげる」… 捨てる 「たんへ」… つば

右の「あへ」は、古い都(こぼ)の「歩め」が訛つたもの。「〇〇してたもれ」のたもれは、賜われの訛りです。さすが小野小町の故郷だと思えます。

葵は「心と身体のリハビリ」で元気な「笑顔」を作ります